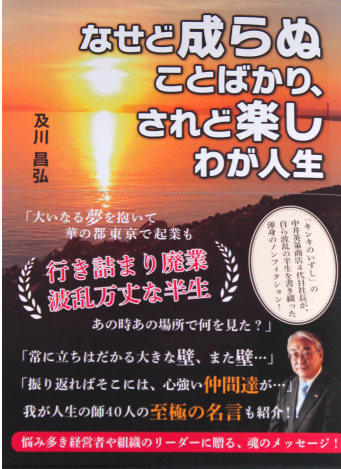


なせど成らぬことばかり、されど楽し我が人生



当社及川代表 自作本完成発刊へ

これは、今年春に行ったクラウドファンディングによる支援が、目標を大きく上回る金額を達成したことから、一気に実現に向けて動き出したもので、本の内容は、学生運動をかじったばかりに就職活動につまずいたことから始まり、マスコミの世界に憧れ入社した食品業界の専門新聞社での記者時代の悲喜こももこの体験。

波乱の半生赤裸々に告白

当社、中井英策商店の及川代表の波乱万丈な半生を綴った直筆本、「なせど成らぬことばかり、されど楽し我が人生」が、7月上旬にいよいよ発刊される。

キンキン新聞

中井英策商店とお客様を結びつくりこむ新時代

当社及川代表8月24日伊達で講演

当社、中井英策商店及川代表が、8月24日地元北海道伊達市主催による市民講座に講師として登壇、自作本「なせど成らぬことばかり、されど楽し我が人生」の出版をテーマに市民向けの講演を行うことが決定しました。

この講座は、毎年伊達市教育課が市民向けに学術や文化、芸術など各分野をテーマに講演会を行っているもので、今年度の講師の一人に当社及川代表に指名が入ったものです。

及川代表は「皆さんに、お会い出来るのを楽しみにしています」と張り切っています。

講演は、8月24日(土)13時30分~15時30分、伊達市カルチャーセンター視聴覚室(伊達市松ヶ枝町34番地1 総合公園「だて歴史の社」・電話0142-22-1515)受講料は250円(税込)。伊達市民以外の参加も出来ますのでお越し下さい。

第14回全国チームシェフコンクール

5社からパートナー賞受賞

当社『白ワインにあう北の生マリネ』

当社が昨秋に発売した、当社初の本格的洋食加工食品「白ワインにあう北の生マリネ」が、このほどエントリー参加した食のプロたちが審査する「第十四回チームシェフコンクール」で、大丸松坂屋百貨店、JALUXなどの量販店などの食品専門バイヤーから高い評価を受け、計5社から高い評価を受け、計5社素材が生きてると高評価。良さが引き立っていた「大丸松坂屋」「ホタテのサイズも旨味も際立っている」「オールドビニング」などの高い評価を受け、全部で5社からの取引オーダーを受ける、パートナー賞を受賞した。当社及川代表は「今回の受賞でさらに自信を深めることが出来た」と好感触を口にしている。

量販店5社から届いた賞状



鉄ちゃん社長の旅日記

終着糸魚川駅構内シオラパークで試運転 オラパークで試運転 白馬駅にもどり、次の列車を待つが、白馬からは途中、南小谷駅で乗り換えとなる。何故乗り換えと思ったか、電化区間はここまでで、この南小谷から終着の糸魚川駅までは非電化区間、ディーゼル車一両での運行列車に乗り移った。ここからは、ほぼ全員が観光客のよう、外国人家族も楽しそうに乗り合わせていた。車窓からの景色は一気に、川沿いの急こう配を姫川に縫うように走る山間部になり、トンネルの連続となり、列車は超徐行運転。この急勾配と急カーブでは致し方ない。途中の平岩、小滝駅周辺には古びた温泉街が開けるなど、大系線の別の顔も見せてくれた。やがて、平野部に出るといよいよ終点、糸魚川駅へ一直線。



糸魚川駅内のジオラマ

糸魚川駅で下車すると、ここでの最後の楽しみが、駅構内に隣接する「糸魚川ジオパーク」で、9ゲージの鉄道ジオラマが広がる展示室が売りの、私のような鉄道ファンには堪らない施設に入り、500円を支払って30分間、鉄道模型をジオラマで運転し楽しんだ。北アルプスの壮観な景色から、最後の鉄道ジオラマまで鉄道の醍醐味を楽しめる春の大系線は、大お勧めの路線だ。

お待ちせしました 看板できました



待望の、立て看板が出来上がりました！当社では、一昨年までに当社工場近くを走る旧国道36号線沿いに建っていた立て看板が、当て逃げされた車両による被害によって倒される事故が発生、その為止む無く撤去を余儀なくされていたが、このほど地元の見板やさんとの協力で、若干小ぶりではあるものの、真新しい看板が出来上がった。「お宅に行きたいけど、分からなくなってしまった」という苦情が多く、今回の新たな看板設置でようやく、道標が出来上がった。

私の一冊 中村哲という希望・死んでも撃ち返すな



旅と並んで大好きな本・・・、最近私が読んで感銘を受けた、清々しい気持ちになつたりした本を紹介するこのコーナー。今号では、中東アフリカニスタンの不毛の大地を、自ら信念で肥沃な緑あふれる豊かな土地に蘇らせた日本人医師、故中村哲氏について、作家佐高信氏とジャーナリスト高世仁の両氏が語り合った対談形式の一冊の本「中村哲 という希望・日本国憲法を履行した男」を紹介する。惜しまれつつ亡くなった中村哲さんの本「中村哲 死んでも撃ち返すな」という希望・日本国憲法を履行した男」を再読し、清々しい気持ちになつたりした本を紹介するこのコーナー。今号では、中東アフリカニスタンの不毛の大地を、自ら信念で肥沃な緑あふれる豊かな土地に蘇らせた日本人医師、故中村哲氏について、作家佐高信氏とジャーナリスト高世仁の両氏が語り合った対談形式の一冊の本「中村哲 という希望・死んでも撃ち返すな」を再読し、清々しい気持ちになつたりした本を紹介するこのコーナー。

私の自作本が間もなく完成です！！



中井英策商店 代表 及川弘

多くの皆様のご支援に感謝申し上げます

当社、中井英策商店では、7月10日から当社代表の及川弘のこれまでの波乱万丈の人生を自ら書き綴った、渾身のノンフィクション「なせど成らぬことばかり、されど楽し我が人生」を出版、発刊することになりました。この本は、そのタイトル通り、頑張っても頑張っても上手く行かない...そんなことばかりの半生、でもそこには素晴らしい尊敬する経営者や、リーダー達との出会いがあり、ありがたく、楽しい半生でもありました。そんな赤裸々な告白本を、この春行った、クラウドファンディングで沢山の方々に、ご支援を頂いたおかげで出版することが出来ました。改めて心から厚く御礼申し上げます。出版記念セールとしまして、お得なキャンペーンも展開しておりますので、是非お手に取って下さいませようお願い申し上げます。

B5版294P定価1,540円がなんと、今なら500円

中井英策商店 出版事業部



中井英策商店代表、及川弘社長直筆本



思い出旅日記・鉄道編 ②②

鉄道大好き社長であり、中井英策商店代表の及川昌弘が思い出す全国の鉄道に乗って旅するレポート、乗り鉄旅シリーズ22回目の今回は、信州長野県を中心都市の一つ松本市から新潟県糸魚川駅を結ぶJR大糸線の雄大な北アルプスを背にした、ひたすら爽やかな旅レポートをお届けします。



松本から長野オリオンピクニックで有名になった白馬村を通り、新潟県糸魚川駅に繋がるJR大糸線を旅した。大糸線は、「日本の屋根」とも呼ばれる標高3千メートル級の山々が連なる北アルプスを望む優雅な景色を堪能できることで知られる全長105.4kmのローカル線。

勇壮で見学し易い 松本城見学から……

まずは、出発駅の地元松本駅周辺を歩いてみる。松本と言えば、何と云っても勇壮な威容を誇る松本城だ。松本駅から歩いておよそ二十分、階段を上ることも無く比較的見学し易い城内堀をめぐ



国宝の松本城



JR松本駅



北アルプスの山並みが綺麗な車窓



穂高神社



穂高駅とその周辺

北アルプス背景に心洗われる旅（松本〜糸魚川JR大糸線）

列車は残雪を抱く北アルプスを左手に眺めながら、進みやがて田畑が見え始めた。季節柄、田植えの作業が行われている。列車は島高松駅を出ると、大きく右カーブ、新緑の中比較的大きな川、梓川を渡る鉄橋を超え南豊科、豊科と北アルプスを望む別荘地帯を進む。そして、今回最初の途中下車駅、穂高駅に到着、ここで

学生を含むほぼ9割の乗客が下車した。ペット同伴参拝OK 穂高神社で祈願。ここでのお目当ては、平安時代初期創建で時の醍醐天皇の朝廷の崇敬厚い、由緒ある穂高神社に向かう。穂高駅から歩いて数分の近距離でしかも高低差も無く、直ぐに着いた。ここは、日本全国でも珍しい「ペット同伴」でお参りが出来る神社でもあり、我が愛犬「わんきち」の無病息災を合わせて祈った。北アルプスの湧き水が作った自然の池が境内にあり、信仰の対象となっている。

ここで、名物と言われる「あんころもち」を食べたかったのだが、まだ朝早かった為か出来上がっておらず断念、神社前にあった池田餅店に立ち寄り、北海道では珍しい「おからまんじゅう」を購入、次の列車が来る時間まで駅構内で美味しく食べた。

9時50分南小谷行き普通列車に乗車、列車沿線には水田が広がり、そこに残雪を抱いた北アルプスが映し出され、爽やかに壮麗な景色を築きながらの列車旅だ。その北アルプスが、徐々に車窓左側に迫り、盆地の北の端に近づいていることが実感される。

長野オリオンピクニックの舞台ともなった念願の白馬駅に着いた後、あの白馬ジャンプ競技場を目指す、歩いて行くのは厳しそう、ここだけはタクシーに乗り向かって到着、やはりジャンプ台は壮観で気持ちが良い。帰りは、下り道だったので、ゆっくり景色を楽しみながら駅に戻った。標高が高いこともあるのだろうが、夏の避暑地としても恐らく人気なのだろう、別荘なども目に付くほか、駅前にはお洒落なオープンカフェや洋食店なども多く、ウィンターシーズンには外国人客も多いのだから想像させてくれる。（次のページに続く）



穂高神社前で購入のおからまんじゅう

今年も順調サクラマス

当社人気のサクラマスいすし

前年比倍増へ製造開始



温暖化などの影響で、近年不安定化が増している北海道周辺の水産資源だが、ここ数年比較的順調な水揚げが続いているのがサクラマスだ。当社では、このサクラマスを使った飯寿司を今年も製造。昨年のおよそ2倍の製造量を目指し、仕込みを行っている。このサクラマスは、その名の通り、桜の咲く時期から獲れる本鱒（ます）で、富山県の名産「鱒すし」で主に使用されていること知られている。脂身も強く、当社の人気いすし「紅鮭いすし」に匹敵する。

る脂の強さで美味しい飯寿司に仕上がっている。今年も、5月上旬から北海道噴火湾沿岸でも獲れ始め、昨年に続いて順調な水揚げが続いていることから、今年も製造に力を入れている。当社中井工場長は「今年のサクラマスも、脂が乗って大変美味しいいすしに仕上がっている」と自信を見せている。サクラマスいすしは、250g入りで1950円（税込）。



『フードジャパ』 「金賞」内定 発酵食文化が高い評価

当社『キンキいすし』

当社、中井英策商店の看板商品「キンキいすし」が全国の加工食品コンクール「ジャパ・フードセレクション2024」審査会で、金賞の内定を受けたことになった。

このコンクールは、全国の優れた加工食品を、食品業界のプロが審査し、表彰するもので、当社の「キンキいすし」が、永年の北海道発酵食品の食文化を支える存在として高い評価を受け、その独自の発行の美味しさも評価、「金賞」の内定を受けたもの。今後、本審査を経て正式な受賞発表となる見通しで、発売から半世紀を目前に「キンキいすし」にまた新たな勲章が送られることになった。

西武池袋店イベントで

『あご勇』さんと再会喜ぶ

「仕事下さ〜い」と懇願



あご勇さんと当社及川代表

当社中井英策商店で、古くからお付き合いのタレントあご勇さんと、先に行われた西武池袋本店での北海道物産展会場での再会。久しぶりの交流を行った。一時期、正に一世を風靡したお笑いグループ「ハンターズ」の一員で、お笑いタレントのあご勇さんは、十年前に

当社が主催して行ったイベントからお付き合いのタレントあご勇さんと、先に行われた西武池袋本店での北海道物産展会場での再会。久しぶりの交流を行った。一時期、正に一世を風靡したお笑いグループ「ハンターズ」の一員で、お笑いタレントのあご勇さんは、十年前に池袋本店で開催された「春の北海道物産展」に当社が出店の土日に、帯広市内の競馬場前広場で開催される「帯広パンマーケット」に当社は出店が決定、出来立てのいすしや生マリネ、お土産菓子に加えて、昨年大好評だった青森産リンゴも販売する予定だ。



LINE友達になってね!

中井商店から最新ニュースが届きます

当社、中井英策商店では、当社の最新情報や、お得な情報が不定期に随時配信される、SNSグループ「LINE」中井英策商店グループの友達募集を開始致しました。上のQRコードを読み込むだけで、グループの友達になれます。当然ですが、一切費用は無料です。是非当社のお友達になって下さい!

8月24、25日 今夏も 帯広競馬場前で出店



去年の出店ブース